

非切除胆道癌の予後に影響を与える因子についての研究

1. 研究の対象

2018年4月から2022年3月までに当院で診療した80歳以下の非切除胆道癌の方

2. 研究目的・方法

胆道癌を完全に治す治療は手術での切除のみですが、最初に発生した部位から周辺の組織やリンパ節、離れた臓器に転移したり、お体の具合により手術を受けることが困難になったりするために、切除できない症例も多いです。切除できなかった胆道癌の予後に影響を与える因子は、臨床重要な情報であります但现在までに明らかになっておりません。

今回の研究では、非切除胆道癌の予後に影響を与える因子を見つけることを目的とし、電子カルテの情報を収集し検討をおこないます。

研究期間は、病院長許可日から2024年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ情報

- ・患者背景: 性別、年齢、病名、Performance Status(PS)
- ・検査所見: 好中球/リンパ球比、Alb 値、遠隔転移の有無、腹水の有無、胆道閉塞の有無、胆管炎の有無
- ・非切除因子、生存期間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

磐田市大久保 152-3 磐田市立総合病院

消化器内科 金子淳一

電話 0538-38-5000